

目次

はしがき	i
略語一覧	vi
序 章 2010年の東アジア	1
1 緊張する朝鮮半島情勢	2
2 周辺海域での中国の活動の活発化	3
3 米国オバマ政権のアジア重視の外交姿勢の継続	5
4 新興国の経済パワーの増大と国際秩序	6
第1章 グローバル金融危機と国際安全保障環境 —— 主要国の国防予算への影響	9
1 国際協調の模索 —— 先進国と新興国の対応	11
(1) 危機発生と新興国台頭の背景 —— 世界的低金利とグローバルインバランス	11
(2) 米国サブプライムローン問題 —— 経済プレゼンスの動揺と回復への取り組み	13
(3) 欧州ソブリン・リスク問題 —— 域内負担調整のジレンマ	15
(4) G20サミット —— 先進国と新興国の国際協調枠組みの模索	17
2 米国における財政健全化および国防関係予算をめぐる議論	20
(1) 財政赤字の悪化と財政健全化に向けた取り組み	20
(2) 安全保障上のリスクとしての財政赤字 —— 政策の柔軟性への制約	23
(3) 海外活動予算の中期的傾向 —— 海外緊急作戦(OCO)経費の縮減と 国際援助予算の増額	25
(4) 強弱をつけた国防予算 —— リバランスをめぐる政府と議会の角逐	28
(5) 「リバランス」の含意と調達の「アフォーダビリティ」	31
3 欧州諸国における財政問題と国防予算	33
(1) 悪化する欧州の経済・財政状況とその対応	33
(2) 英国の財政健全化政策と国防政策	36
(3) フランスの財政健全化政策と国防政策	39
(4) ドイツの財政健全化政策と国防政策	41
4 中国の積極財政と国防予算の動向	43
(1) グローバル金融危機に対する中国の積極財政	43
(2) 国防予算の動向	45
(3) 中国経済の今後の見通しと課題 —— インフレ懸念と投資・輸出主導型 経済からの脱却	47

第2章 北極海秩序の将来 —— 沿岸国の協調と対立	49
1 北極海の今	51
(1) 北極海とは	51
(2) 結氷面の減少	52
(3) 北東・北西航路の開削 —— 「通商路」の海	53
(4) 天然資源の開発 —— 「資源」の海	55
(5) 軍事利用の可能性 —— 「軍事」の海	55
2 北極海をめぐる海洋法制度	56
(1) 領海	57
(2) 排他的経済水域 (EEZ)	57
(3) 大陸棚	58
(4) 結氷区域の航行	59
(5) 軍事利用	60
3 沿岸諸国の主張と最近の動き	61
(1) 海洋の境界画定問題	61
(2) 大陸棚の延伸問題	63
(3) 北極航路をめぐる問題	66
(4) 活発化する沿岸諸国の軍事活動	68
4 北極海秩序の将来像	71
(1) 新たな秩序の模索	71
(2) 日本への影響	72
 第3章 朝鮮半島 —— 軍事的緊張の高まりと 変化する韓国の対外政策と国防政策	 75
1 朝鮮半島における軍事的緊張の高まりと北朝鮮で進む権力継承	76
(1) 韓国哨戒艦沈没事件と延坪島砲撃事件	76
(2) 北朝鮮における後継体制の公式化	80
2 変化する韓国の対外政策と国防政策	82
(1) 対北政策における統一志向の政策構想	82
(2) 北朝鮮の非対称戦力に対する国防の再検討	84
(3) 防衛産業の強化方針と装備調達の問題	87
 第4章 中国 —— 協調から強硬へ	 91
1 対等な米中関係の模索	92
(1) 拡大する中国の「核心的利益」?	92
(2) 対米関係の改善とその脆弱性	96
2 周辺海域で深まる摩擦	103
(1) 南シナ海をめぐる対立	103
(2) 東シナ海における対日摩擦	109

3	中国の軍事情勢	112
(1)	中国漁船衝突事件への対応	112
(2)	国防動員法の制定	114
(3)	遠海訓練の常態化	116
第5章 東南アジア —— 南シナ海問題の再燃		121
1	各国の政治的不安定と変化 —— 地域安全保障への影響	123
(1)	ミャンマー —— 総選挙と新体制下での軍の権力維持	123
(2)	タイ —— 政治的混乱と内外の安全保障問題	128
(3)	フィリピン —— 新大統領の誕生	132
2	ASEAN の戦略環境における協力と緊張	133
(1)	ASEAN 国防相会議 (ADMM) の拡大 —— ADMM プラス	133
(2)	発展・拡大する多国間協力枠組み	135
(3)	東南アジアにおける中国の動向 —— 南シナ海問題の再燃	137
3	東南アジアの軍事動向 —— 着実な軍備増強	143
(1)	南シナ海問題の影響	143
(2)	国防費に対する経済危機の影響	145
第6章 ロシア —— 新しい「軍事ドクトリン」の策定		147
1	タンデム体制の課題と挑戦	148
(1)	2012 年の大統領選挙に向けた動き	148
(2)	緩やかに回復するロシア経済と経済近代化プログラム	150
(3)	新核軍縮条約の締結とその評価	154
2	ロシア外交の新展開	157
(1)	経済近代化に向けた欧米協調路線	157
(2)	戦略的な駆け引きが展開される東アジアのエネルギー市場	161
(3)	活発化するロシアの東アジア政策	165
(4)	厳しさを増すロシアの対日姿勢	168
3	新しい「軍事ドクトリン」の策定とロシア軍のイノベーション	171
(1)	新しい「軍事ドクトリン」の承認	171
(2)	装備更新に焦点が移る軍のイノベーション	173
(3)	軍事演習の活発化と今後の対外軍事協力の方向性	177
(4)	拡大を続ける武器輸出と対外軍事・技術協力の強化	180
第7章 米国 —— オバマ政権、2 年目の試練		185
1	イラクからアフガニスタンへ	187
(1)	イラク情勢の沈静化	187
(2)	アフガニスタンへのシフト	190

2	国防政策の動向と評価	195
(1)	「4年毎の国防計画の見直し」(QDR)などの公表	195
(2)	戦力の「リバランス」と「現在の戦争における勝利」	196
(3)	アクセス拒否環境下における攻撃の抑止・打破	199
(4)	サイバー空間での作戦の重視	202
(5)	QDR パネル報告書による批判と戦力組成	204
(6)	核態勢の見直し(NPR)	205
3	オバマ政権の東アジア政策	208
(1)	東アジア政策の基調	208
(2)	東アジア諸国との関係	209
 第8章 日本——新防衛大綱の策定：動的防衛力を目指して		217
1	新防衛大綱の策定	219
(1)	新防衛大綱策定まで	219
(2)	新防衛大綱——2004年防衛大綱からの変化	221
2	基盤的防衛力と動的防衛力	226
(1)	基盤的防衛力構想	226
(2)	動的防衛力の構築へ	230
(3)	動的抑止	233
3	新防衛大綱と拡大抑止	235
(1)	これまでの防衛大綱における拡大抑止の考え方	235
(2)	拡大抑止をめぐる論点	238
(3)	新防衛大綱における拡大抑止の考え方	240

解説

金正恩とともに登場した新型中距離弾道ミサイル(IRBM)	81
韓国軍の積極的な国際貢献	89
人民解放軍における「瓦解戦」研究	113
習近平の中央軍事委員会副主席への就任	119
南シナ海の領有権問題	142
新防衛大綱と日米防衛協力——動的日米防衛協力に向けて	242